



MSE61-60001

インテリアイルミネーションキット

取付・取扱要領書

この度はモデリスタインテリアイルミネーションキットをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。

取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。

なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

●本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	適合車種	備考
MSE61-60001	ランドクルーザー 250 '24/4 ~	-

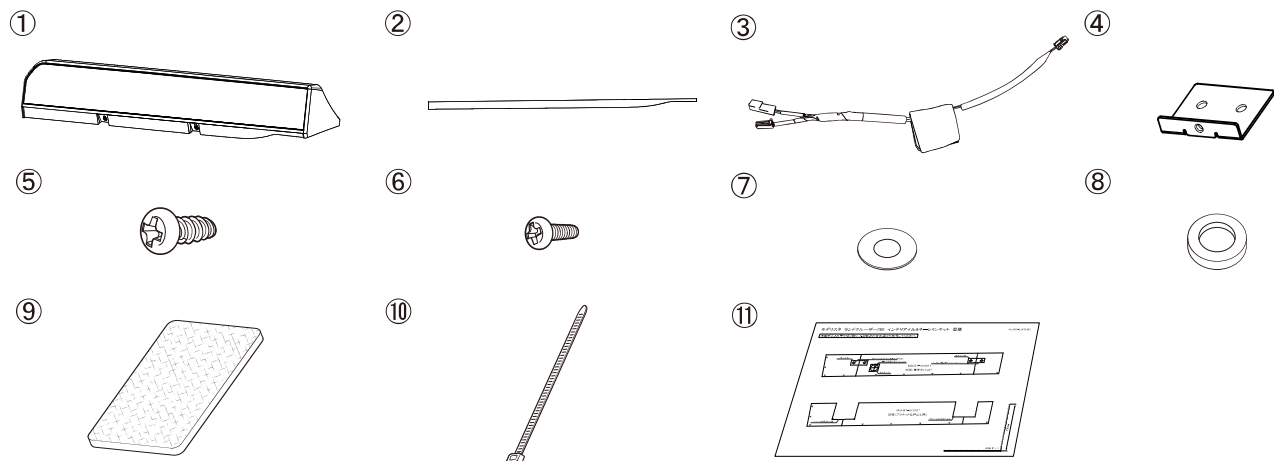
・最新の適合情報はモデリスタカタログをご覧ください。〈<http://www.modellista.co.jp/>〉

■ 構成部品

No.	部品名	個数	備考
①	インテリアイルミネーション	1	
②	インテリアイルミネーション アンダーカバー	1	
③	電源ハーネス	1	
④	ブラケット	2	
⑤	タッピングスクリュー(ブラケット固定用)	4	M4×10
⑥	ナベビス(インテリアイルミネーション固定用)	2	M3×8
⑦	ワッシャー	4	M4
⑧	カラー	4	φ5×h2×D8
⑨	スポンジシート	1	
⑩	結束バンド	3	
⑪	型紙	1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。



注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。



脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。



両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

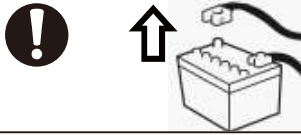


取り付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
 - ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
 - ❗ バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
- ※車両システムの初期化は、GTSなどのツールが必要な場合があります。

LEDランプ配線取付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



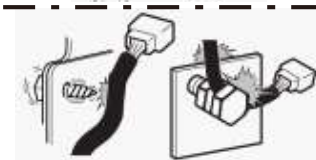
取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの側ケーブルをはずす。



部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。



- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

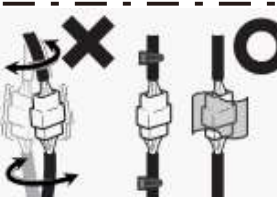
- ・コネクタは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクタは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクタが振動により異音がしないように、確実に固定する。

⚠ 注意

- ❗ バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1
2. 取付け上のご注意（取付け業者の方へ） 2～3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について 4
4. 取付け準備、取付け要領 5～20
5. 取付け完了後の点検・注意事項 20

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）
- ・ 電動ドリル（φ3）
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）など
- ・ 保護メガネ
- ・ ホルソー（φ14）
- ・ マスキングテープ
- ・ 清潔なウエス

■ 保証について

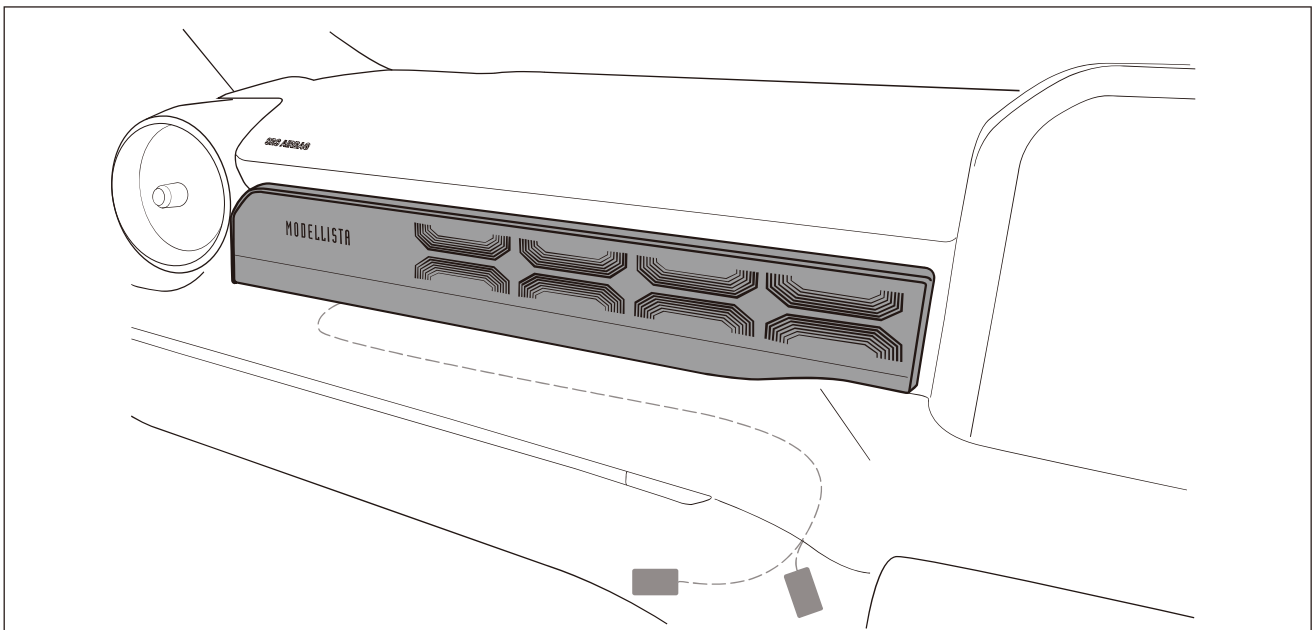
本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。

（1年または 20,000km 走行時点のいずれか早い方まで）

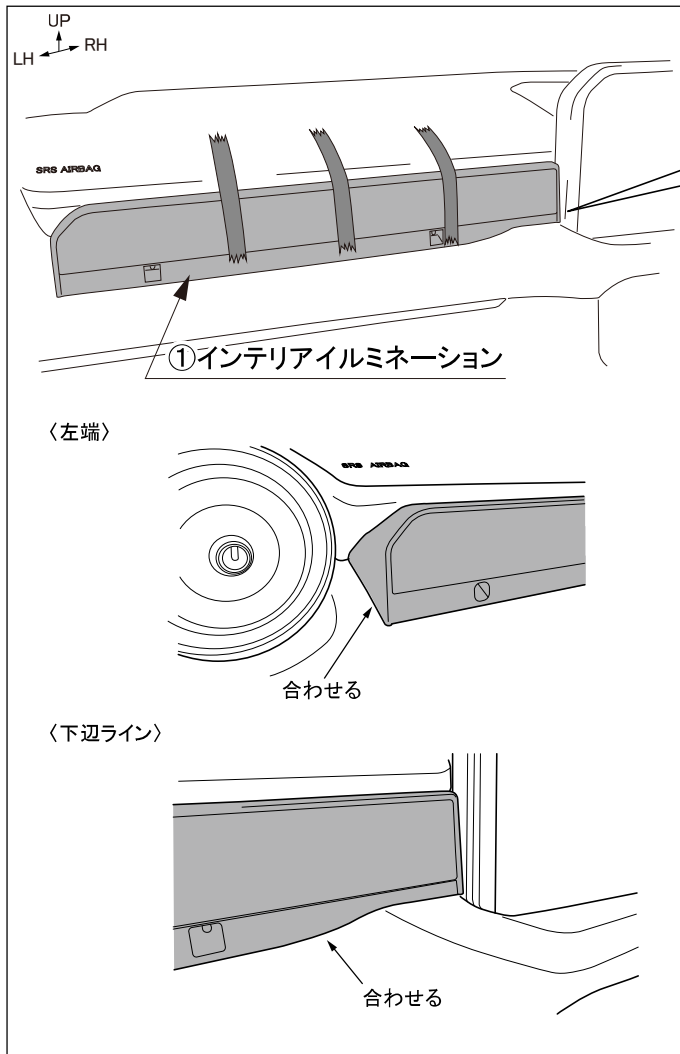
※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

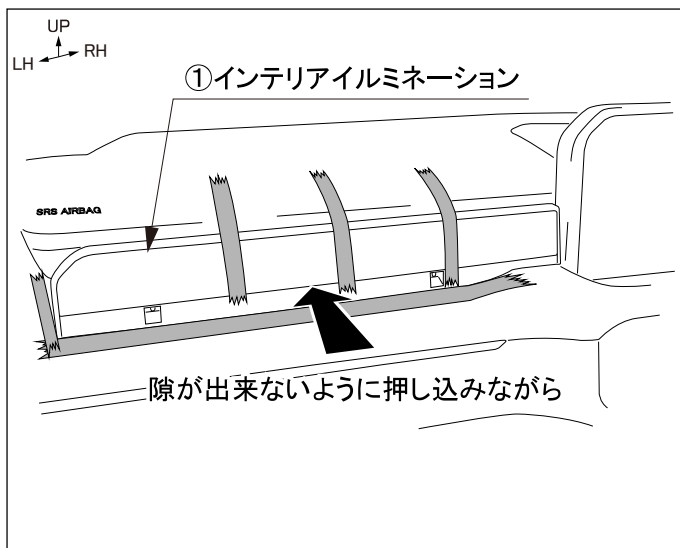
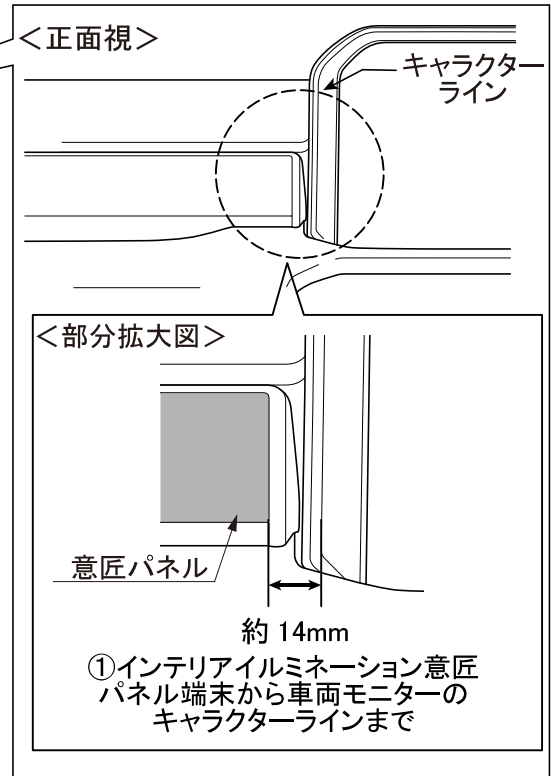
■ 取付け構成図



1. インテリアイルミネーション位置合わせ



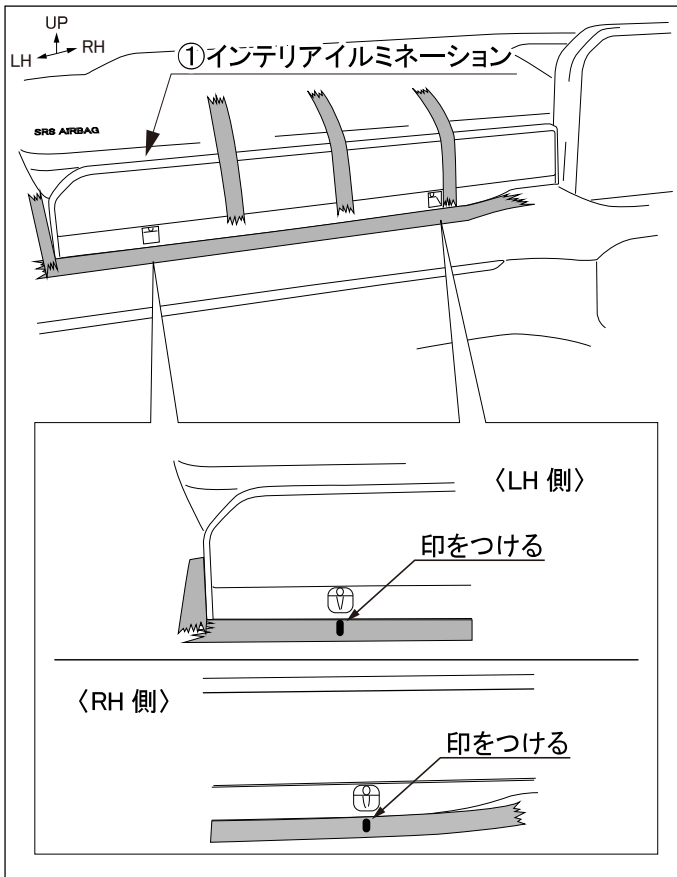
(1) 左図を参考に製品をマスキングテープで仮固定してください。



(2) (1) で仮固定した①インテリアイルミネーションの左端、下辺のラインに沿ってマスキングテープを貼付けてください。

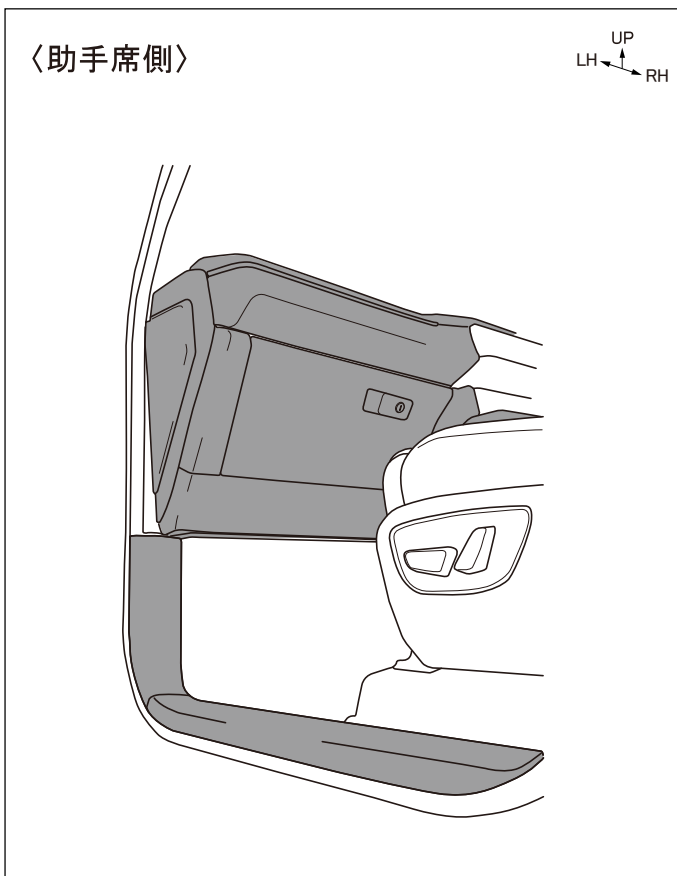
⚠ 注意

本作業でのマスキングテープ貼付けは、製品の位置を決める重要な工程のため正確に①インテリアイルミネーションに合わせ貼付けを行ってください。



- (3) 左図を参考に①インテリアイルミネーション下部にあるネジ固定用穴のセンターの位置を(2)で貼付けたマスキングテープ(下辺側)にボールペン等で印付けしてください。

2. 車両部品取外し



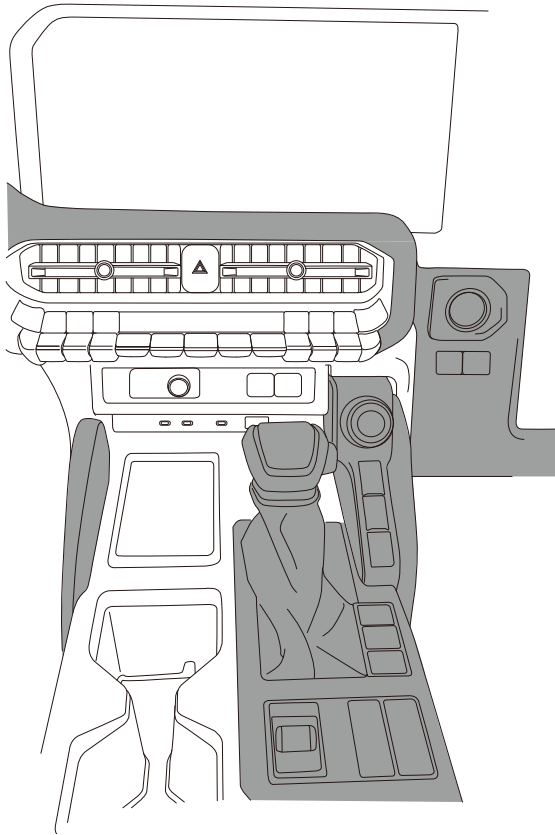
- (1) バッテリーのマイナス端子を外します。
 (2) 左図(色分け部)の車両部品を取外してください。取外し方法、順序は車両修理書を参照してください。

⚠ 注意

車両パーツ取外しの際、裏側コネクタを断線させないように注意してください。

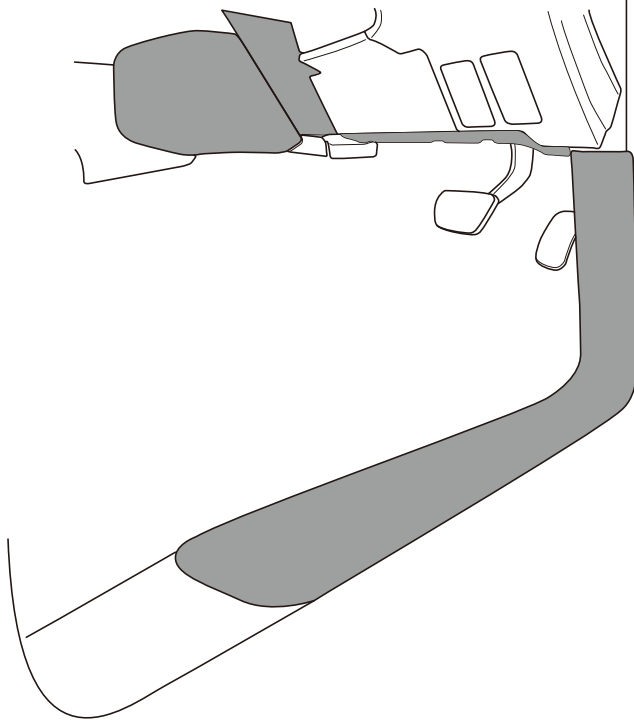
〈センターコンソール〉

UP
LH ← RH

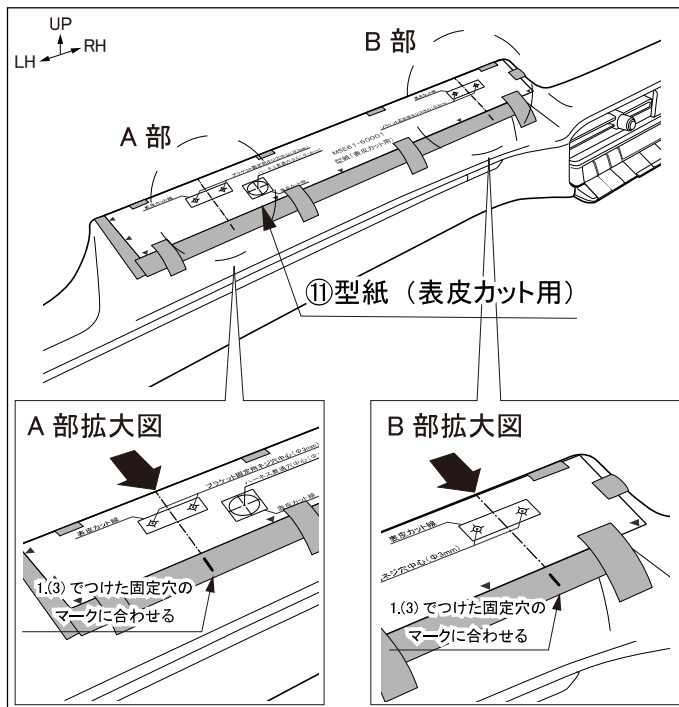


〈運転席側〉

UP
LH ← RH

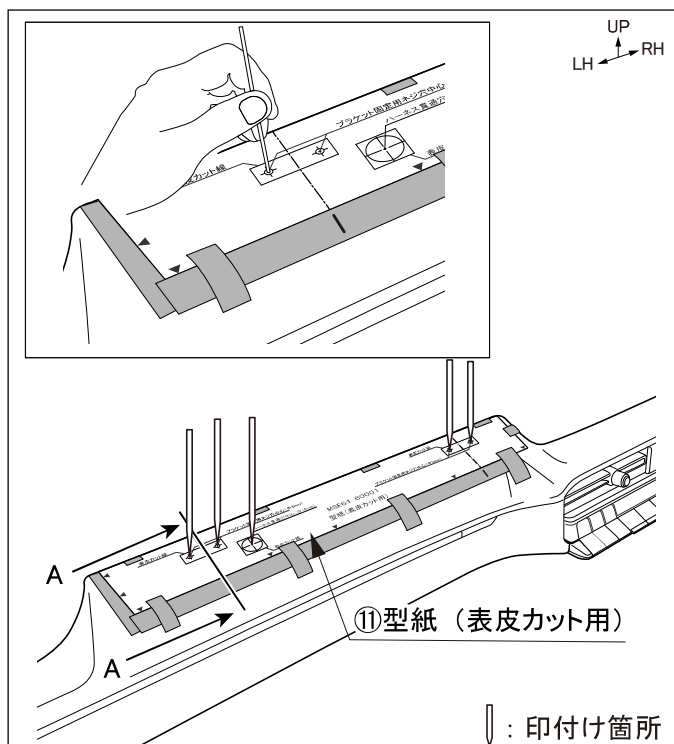


3. ⑪型紙合わせ



- (1) ⑪型紙（表皮カット用）をハサミ等を使用し、カットしてください。
- (2) (1) でカットした⑪型紙（表皮カット用）を1.(2) で貼付けたマスキングテープに合わせマスキングテープで固定してください。

4. ④ブラケット取付



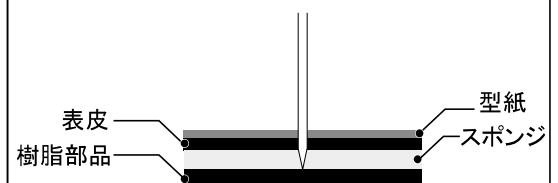
- (1) 左図を参考に⑪型紙（表皮カット用）に表記されているブラケット固定用ネジ穴の中心にケガキ針等で5箇所印を付けてください。



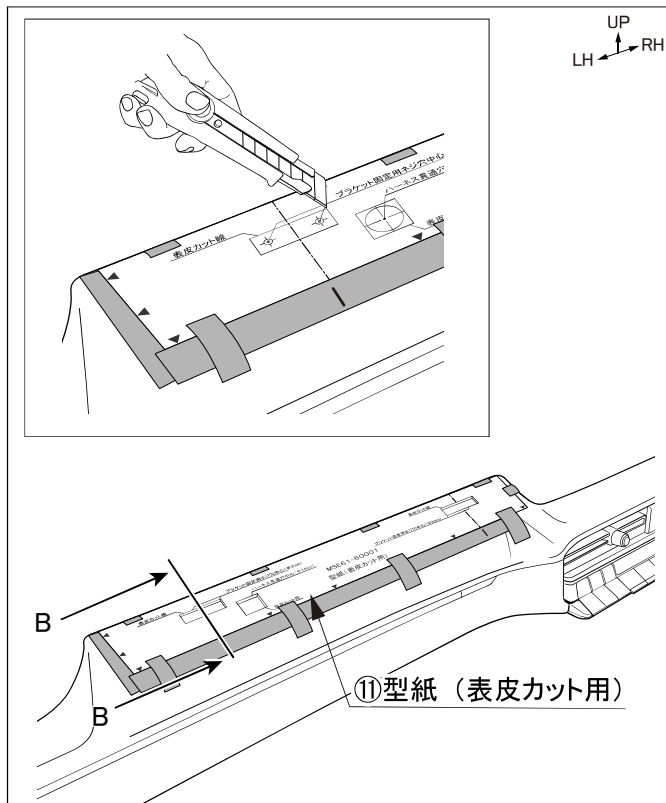
アドバイス

下図を参考に車両部品へ印づけを行ってください。

【A-A 断面】



樹脂部品に印が残るように奥までしっかりと押し込んでください。



- (2) 左図を参考にカッター等を使用し、⑪型紙 (表皮カット用) に表記されている表皮カット線を3箇所カットしてください。

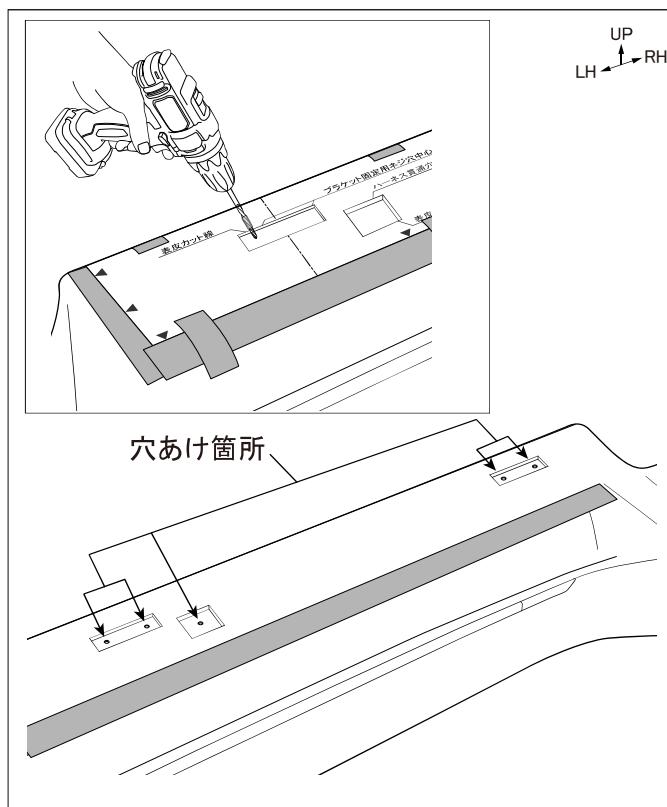
アドバイス

下図を参考に表皮カットを行ってください

【B-B 断面】



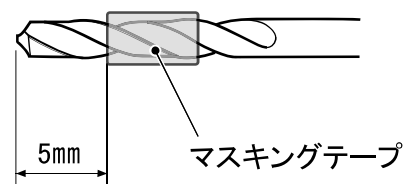
※(2)の作業後、万がースポンジ等が残っていた場合、確実に取り除いてください。

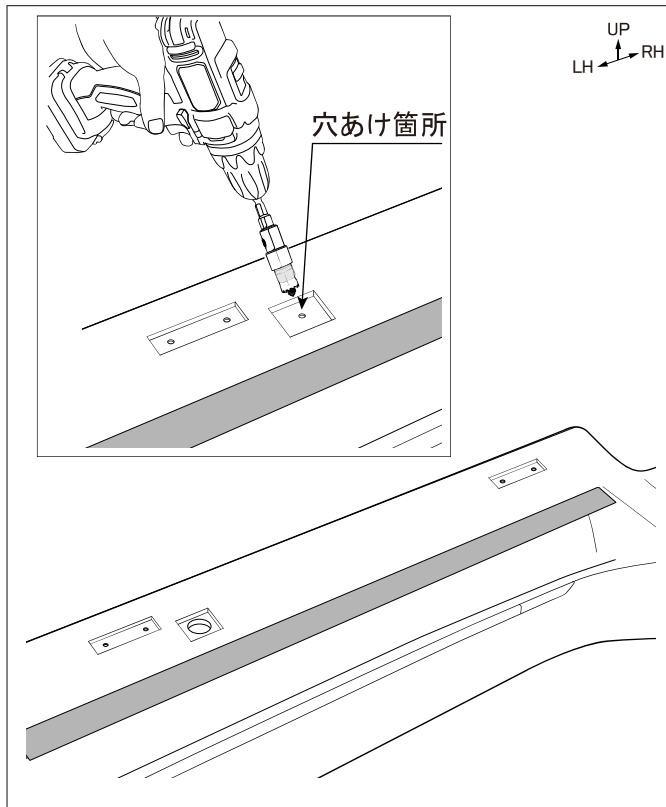


- (3) 左図を参考に車両部品に電動ドリル (Φ3) を使用し、5箇所穴あけをしてください。

アドバイス

穴あけで使用するドリル刃の先端から5mmの位置にマスキングテープを貼り付けストッパーを作ります。



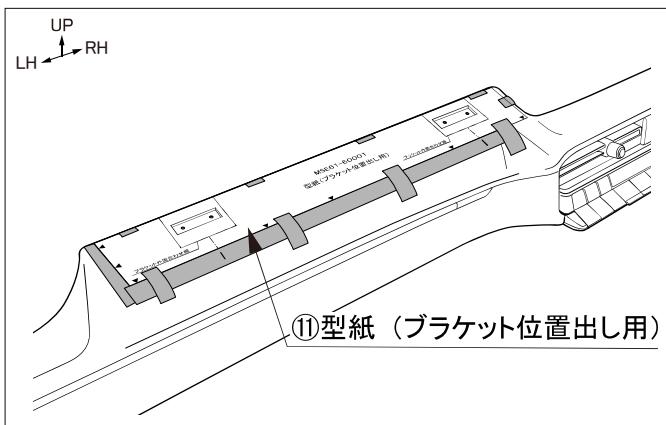
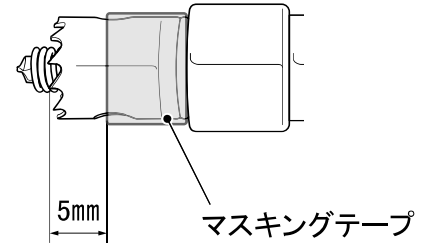


- (4) 左図を参考にホルソー（φ14）を使用し、1箇所穴を開けます。

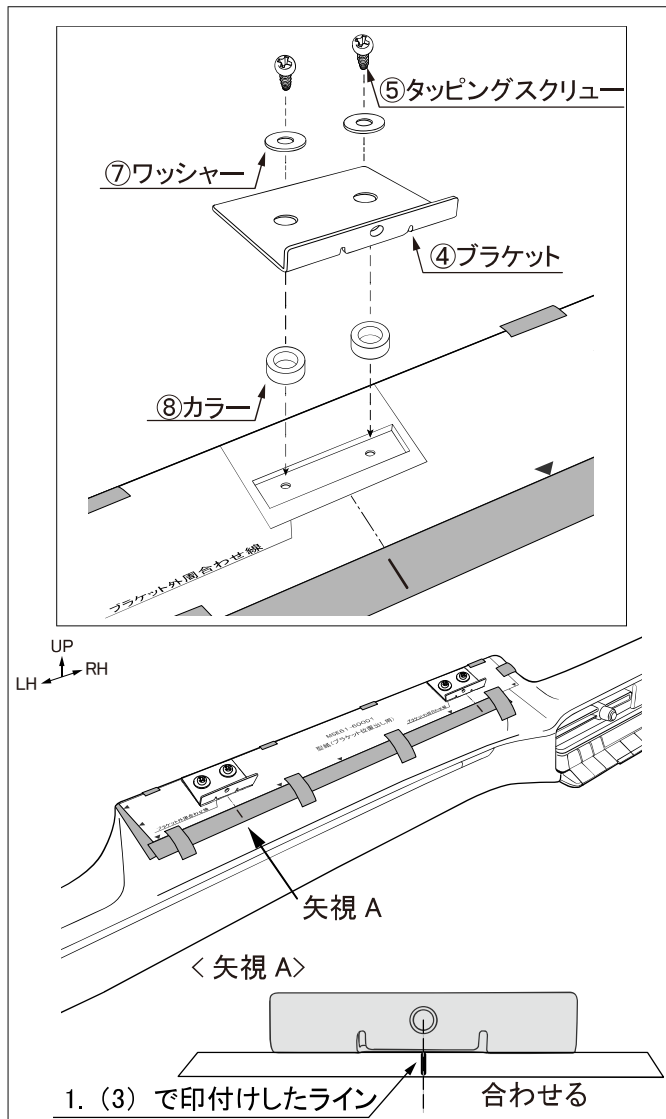


アドバイス

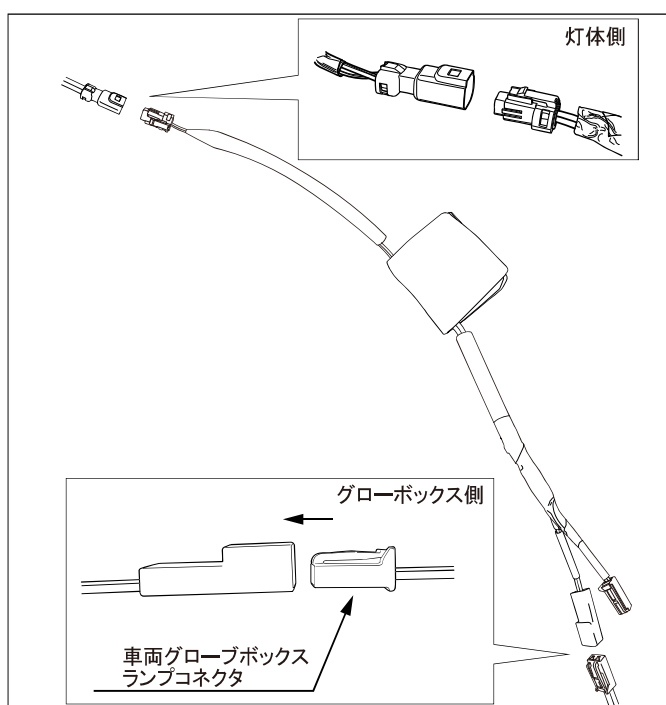
ホルソー刃の先端から5mm程度の位置にマスキングテープを貼付けストッパーを作ります。



- (5) 3. (2) で固定した①型紙（表皮カット用）を剥がし、①型紙（ブラケット位置出し用）をマスキングテープで固定してください。



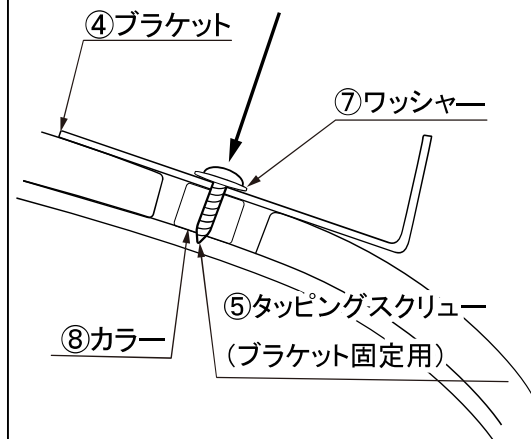
5. 点灯確認



- (6) 左図を参考に
⑧カラー
④ブラケット
⑦ワッシャー (M4)
の順に置き、⑤タッピングスクリュー
(ブラケット固定用) で仮固定する。

⑤ アドバイス

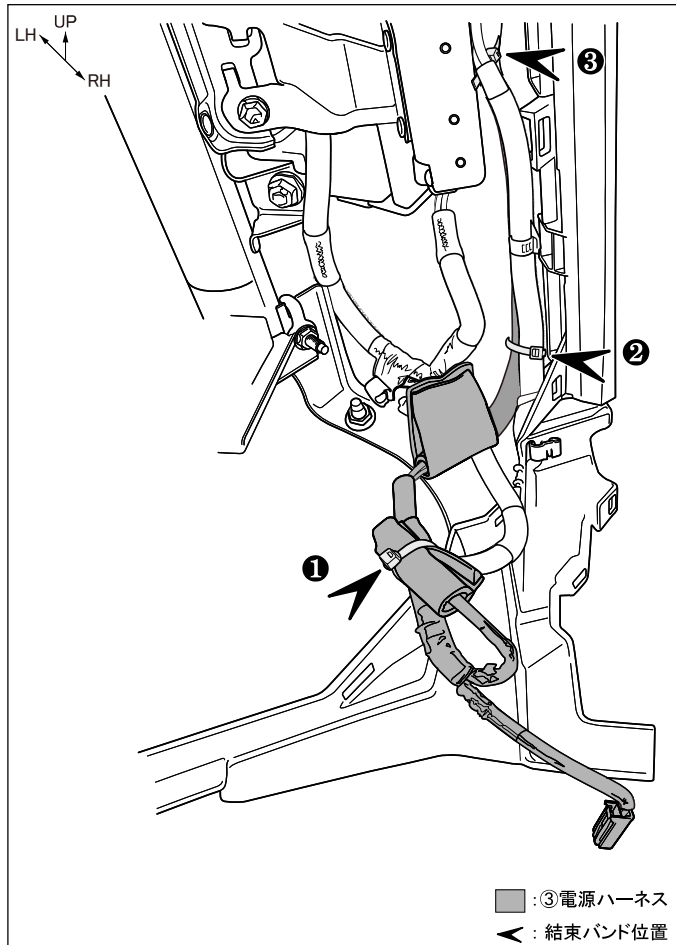
(6) 断面イメージ



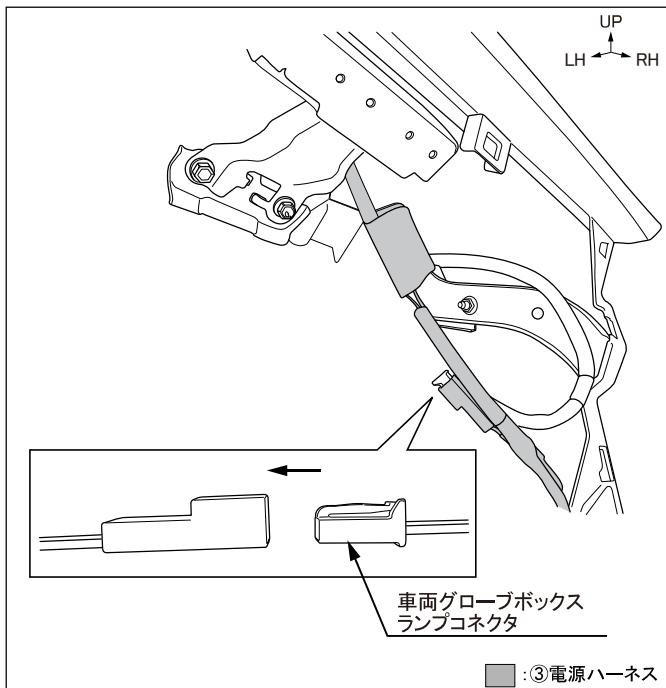
- (6) 灯体固定の穴位置と中心線を合わせて固定してください。
- (7) ⑪型紙 (ブラケット位置出し用) を剥がしてください。
- (8) 1.(2) で貼付けたマスキングテープを剥がしてください。

- (1) 左図を参考に車両ハーネスと製品ハーネスのコネクタ (白) を接続します。
- (2) 左図を参考に (1) で接続したハーネスと①インテリアイルミネーション電源ハーネスのコネクタ (白) を接続し点灯確認をしてください。
- (3) 点灯が確認出来たら (1), (2) で接続したコネクタ (白) を外してください。

6. ハーネス配索

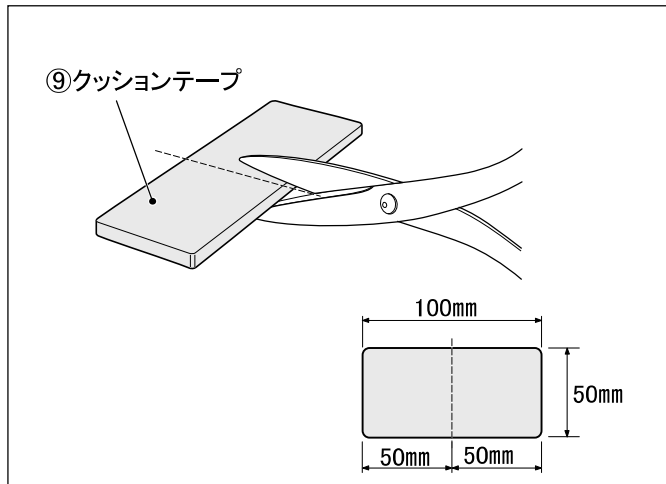


電源ハーネスの接続は左図のように①～③の三つのエリアに分けて進めていきます。

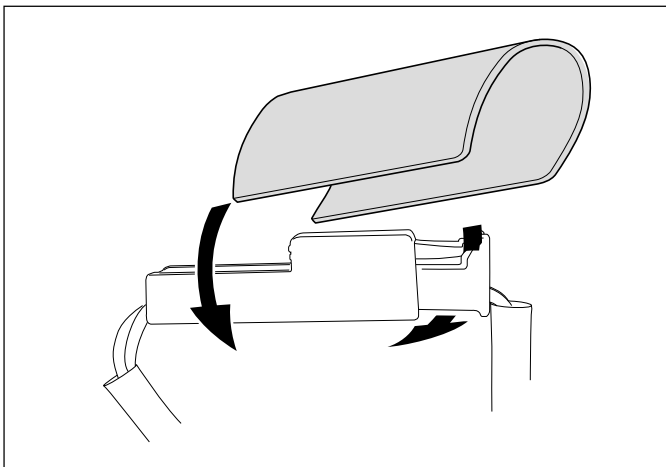


<①のエリア>

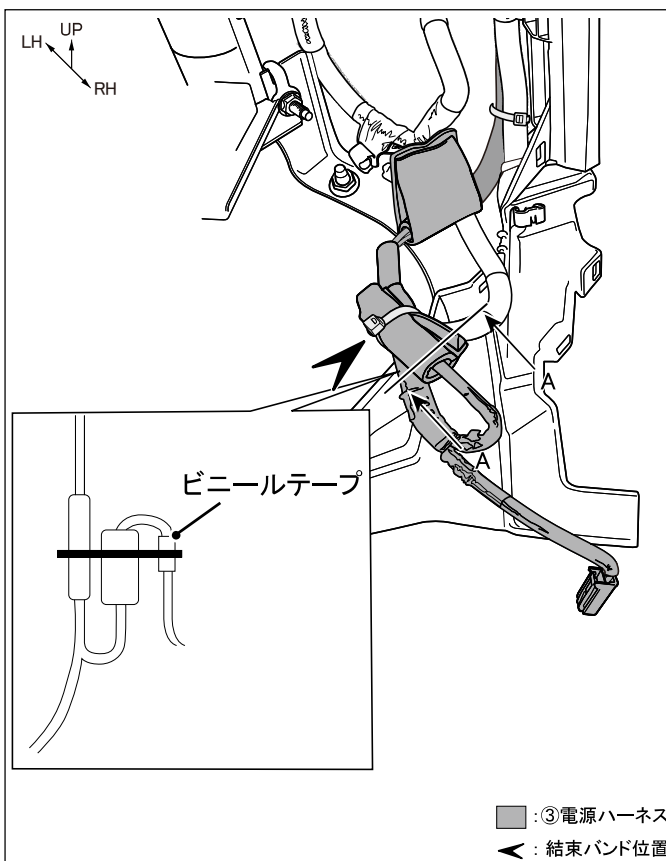
- (1) 左図を参考に車両ハーネスと製品ハーネスのコネクタ（白）を接続してください。



- (2) ⑨クッションテープをハサミ等を使用し、50mm幅でカットします。



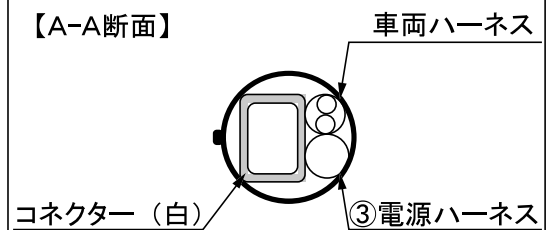
- (3) (1)で接続した③電源ハーネスと車両ハーネス部に⑨クッションテープを巻きつけてください。

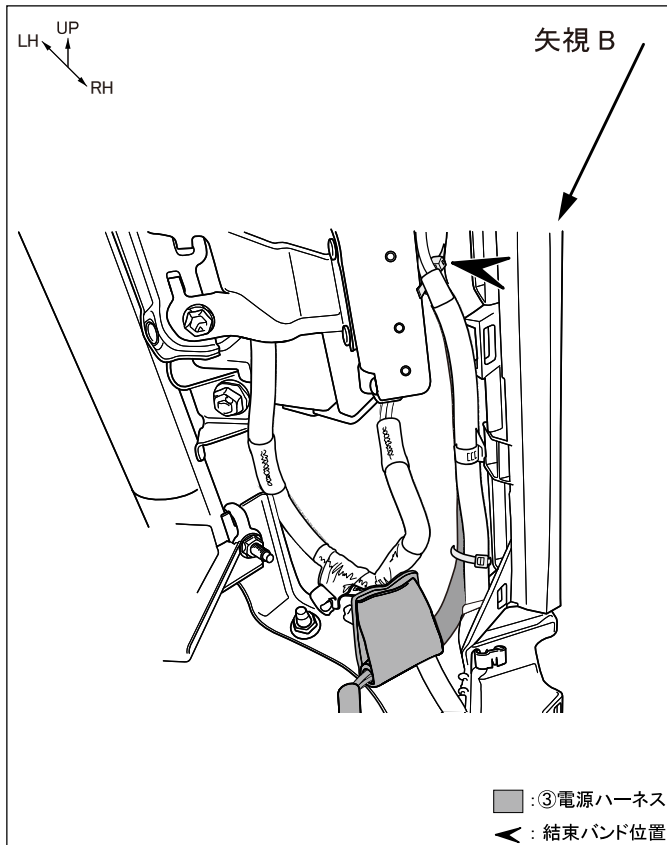


- (4) 左図を参考に車両ハーネスと③電源ハーネスを纏め、③電源ハーネス(クッションテープ部)を⑩結束バンドで仮固定してください。

アドバイス

【A-A断面】



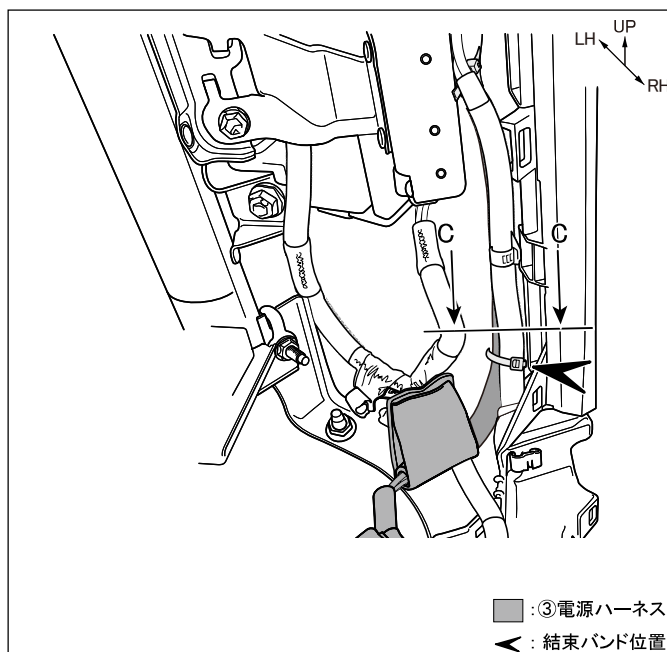
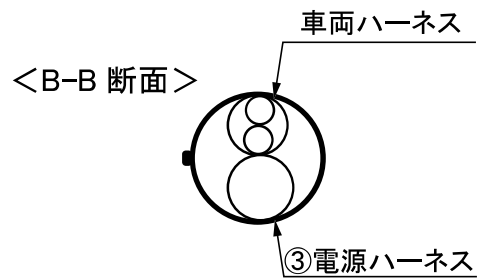
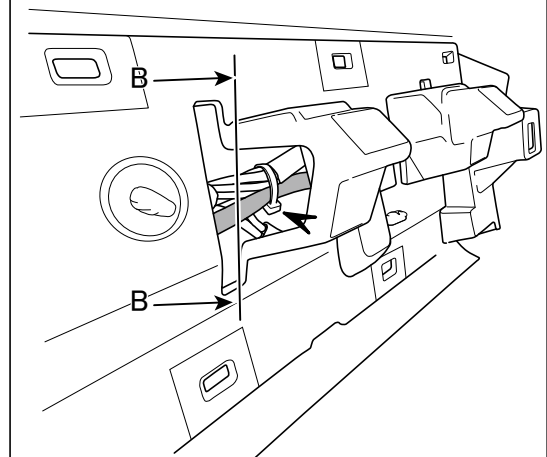


＜②のエリア＞

- (1) 左図を参考に車両ハーネスと③電源ハーネスを結束バンドで仮固定してください。

アドバイス

＜矢視 B＞

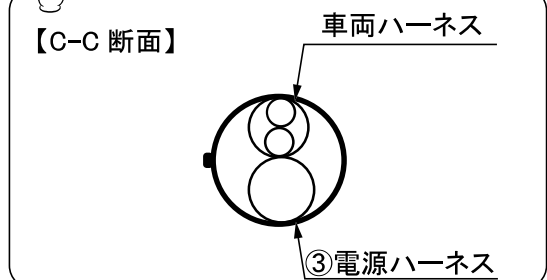


＜③のエリア＞

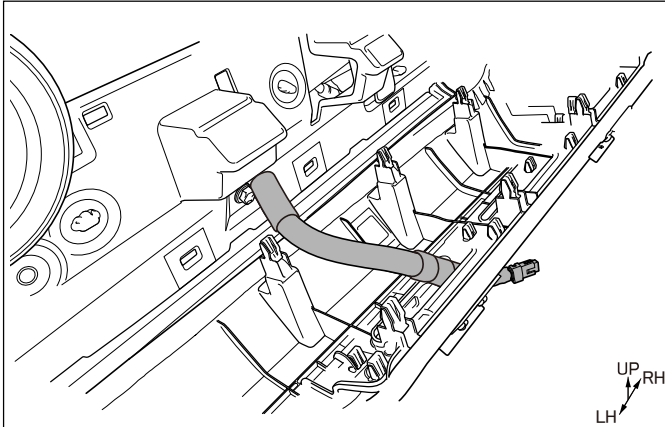
- (1) 左図を参考に車両ハーネスと③電源ハーネスを結束バンドで仮固定してください。

アドバイス

【C-C 断面】



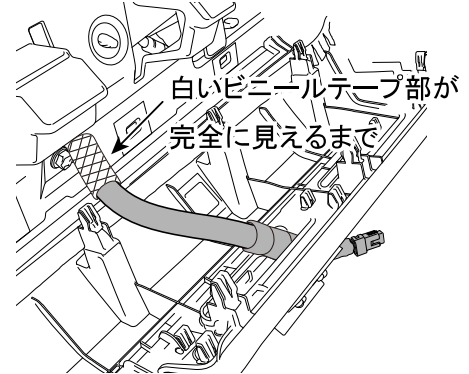
7. コネクタの接続と固定



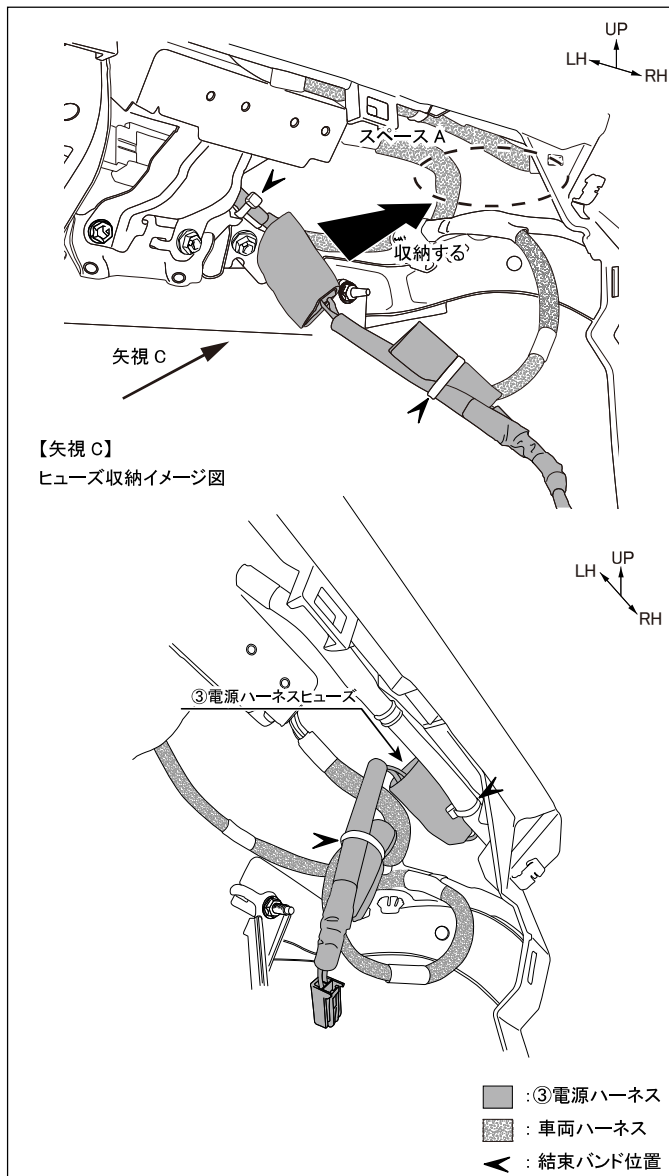
- (1) 3.(1)で取外した車両部品を復元してください。その際、4.(4)で穴あけした箇所から③電源ハーネス先端部を引き出してください。

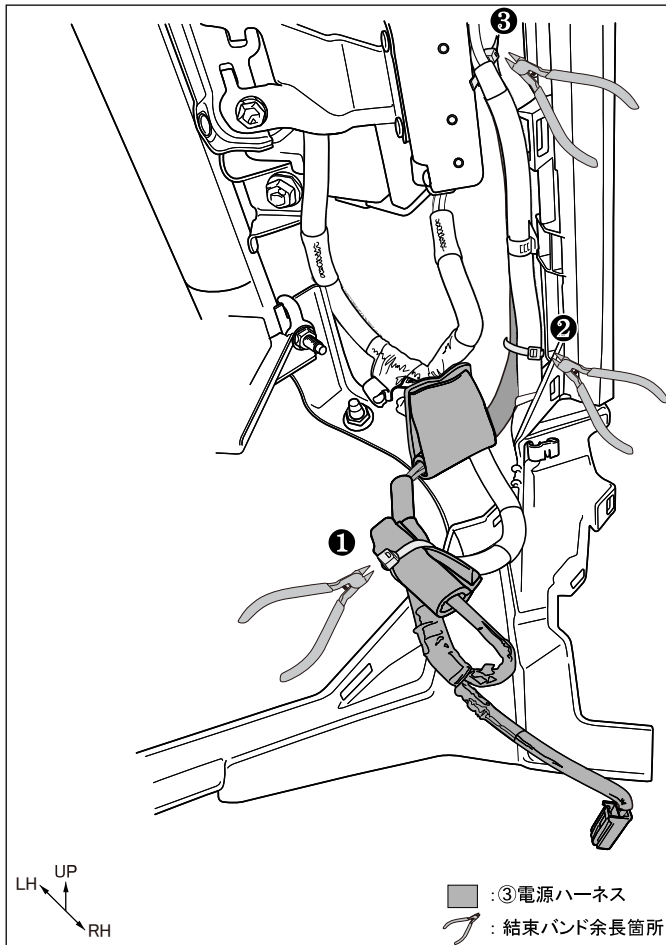
アドバイス

③電源ハーネスに巻かれている白いビニールテープを目安に引き出しを行ってください。

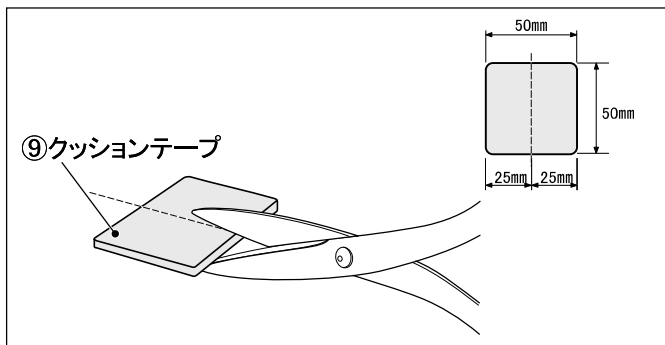


- (2) 左図を参考に③電源ハーネスヒューズ部をスペースAのエリアに収めてください。

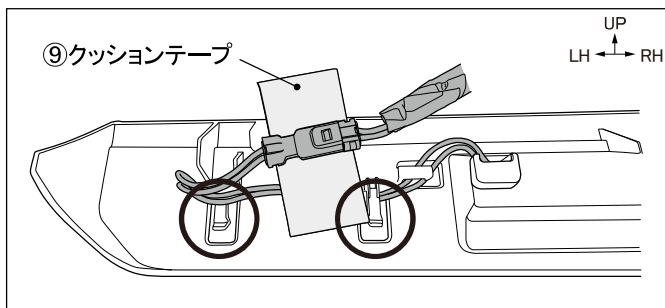




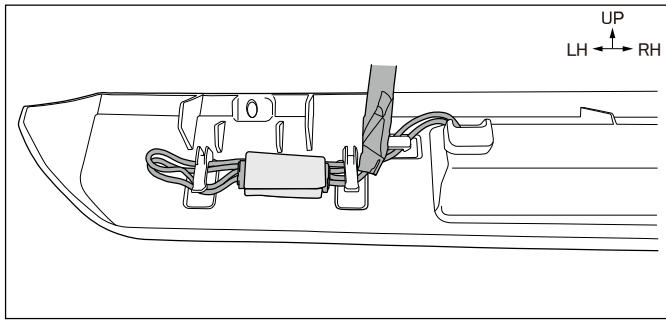
- (3) 6. ハーネス配策にて仮固定した①、②、③の結束バンドを本締めし余長分をニッパー等を使用し、処理してください。



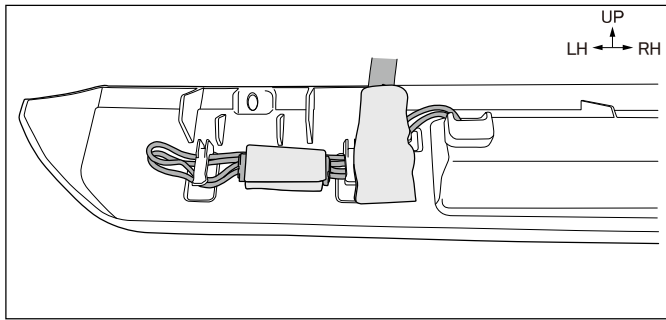
- (4) ⑨クッションテープをハサミ等を使用し、25mm幅にカットします。



- (5) 左図を参考に①インテリアイルミネーションのハーネスと③電源ハーネスを接続します。
- (6) 左図を参考に①インテリアイルミネーションのハーネスと③電源ハーネスの余長分を①インテリアイルミネーション背面にあるツメ(左図、丸部)にかけてください。

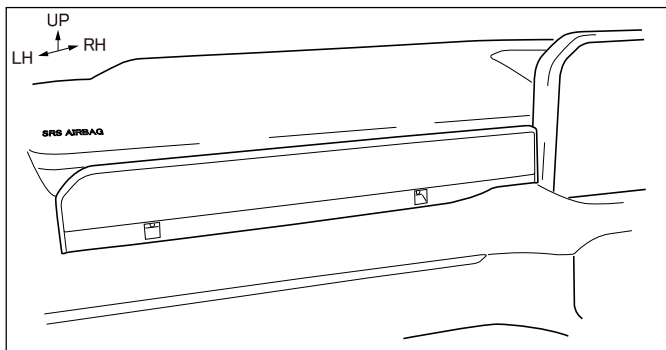


- (7) (5)で接続したハーネスの周りに(4)でカットした⑨クッションテープを巻いてください。

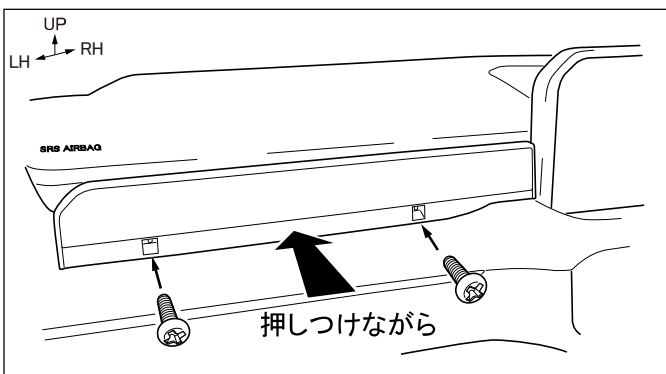


- (8) 左図を参考に(4)でカットした⑨クッションテープを③電源ハーネス先端部に巻いてください。

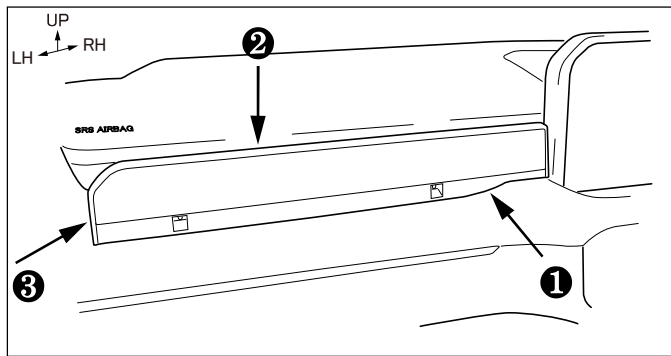
8. ①インテリアイルミネーションの固定



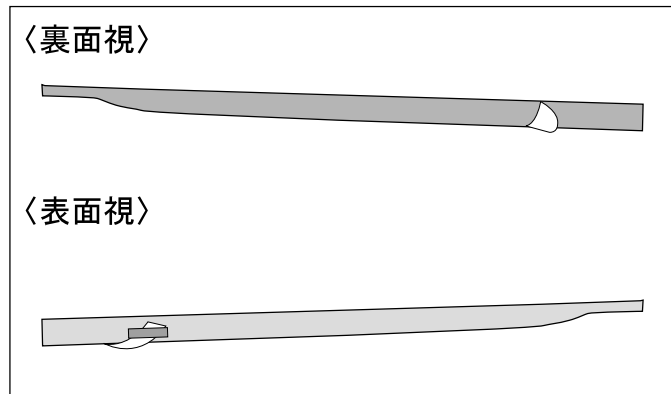
- (1) 4. (8)で固定した④ブラケットの位置に合わせて、①インテリアイルミネーションを置いてください。



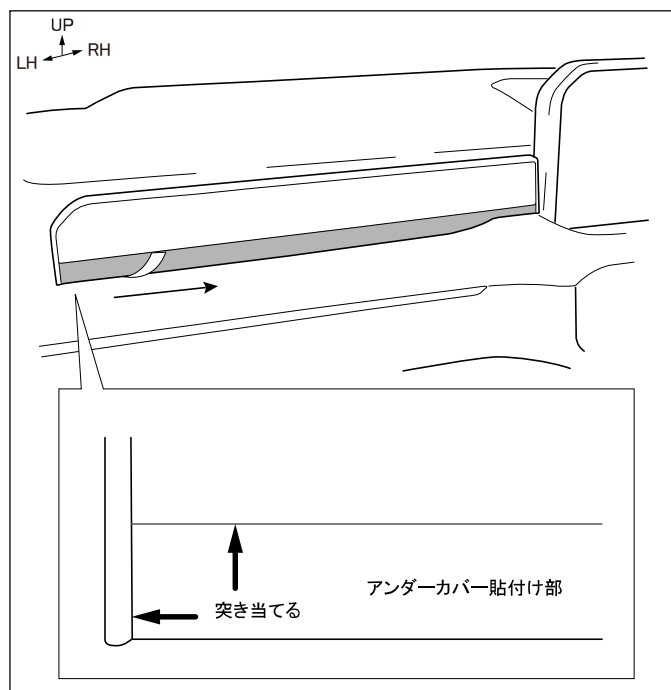
- (2) 左図を参考に①インテリアイルミネーションを⑥ナビビス (インテリアイルミネーション固定用) で固定してください。



- (3) 左図を参考に車両部品と①インテリアイルミネーションの隙間を確認してください。



- (4) ②インテリアイルミネーションアンダーカバーの両面テープの離型紙を 30mm 程度剥がし表側へマスキングテープ等で固定します。



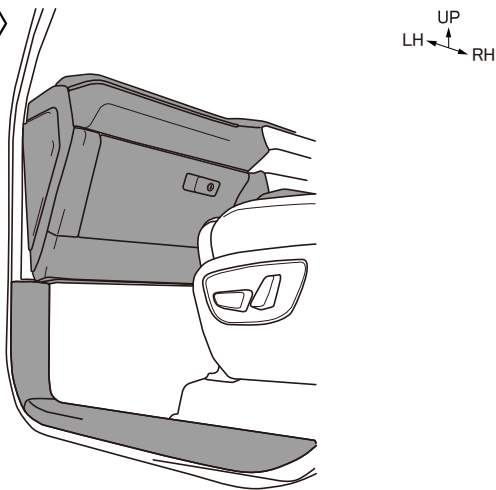
- (5) ①インテリアイルミネーション意匠面下辺に②インテリアイルミネーションアンダーカバー上辺を合わせ離型紙の端末を左図を参考に矢印方向へめくりながら両面テープ面を 49N (車体が揺れるくらい) 以上で圧着します。

⚠ 注意

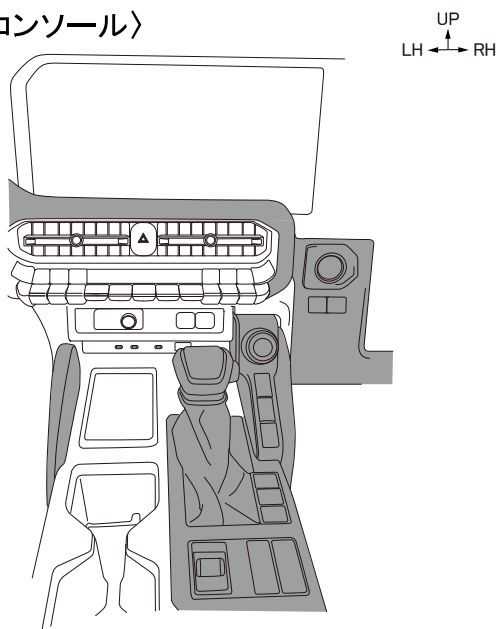
- ・端末部は圧着が不足していると、浮きの原因となりますので、確実に加圧してください。

9. 車両部品復元

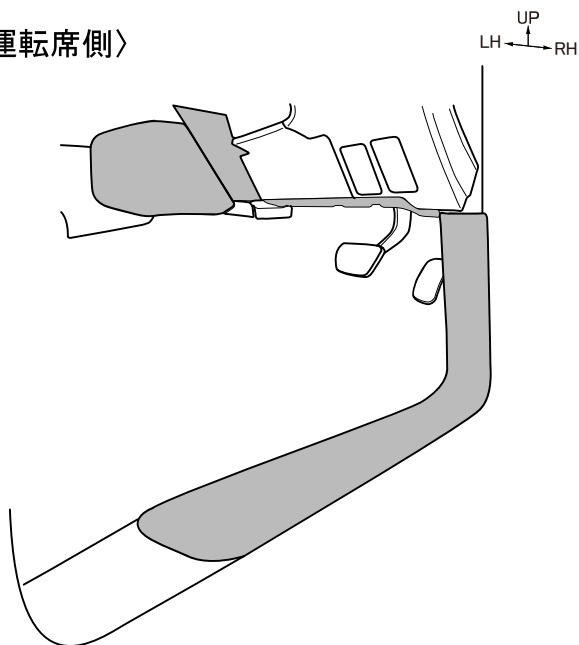
〈助手席側〉



〈センターコンソール〉



〈運転席側〉



(1) 2.(1) で取外した車両部品を復元してください。

⚠ 注意

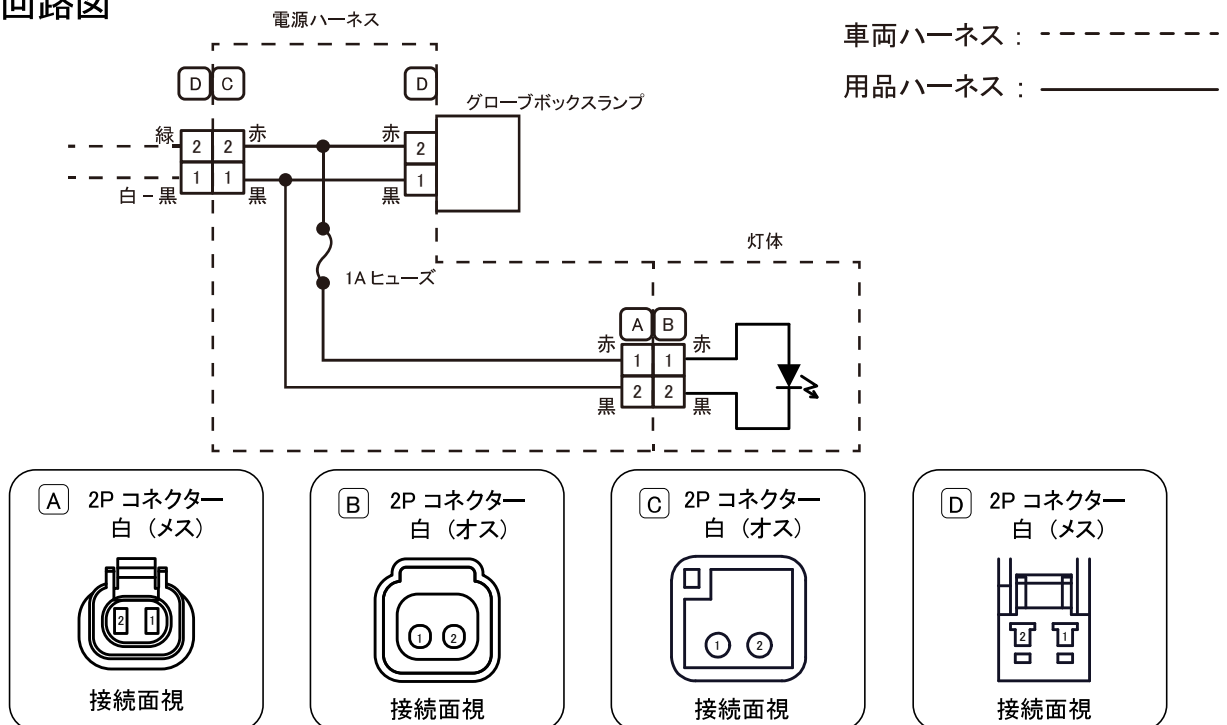
車両部品を復元する際は、本製品ハーネスや車両ハーネス類の挟み込みにご注意ください。

(2) バッテリーのマイナス端子を接続してください。

取付け完了後の点検・注意事項

- 各システムの設定・確認を行ってください。（車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定 / 作業」を参照してください。）
- テールランプ電源オン / オフ時にインテリアイルミネーションが正しく点灯 / 消灯しているかを点検してください。
- LED の明るさ・色には、多少のばらつきがあります。予めご了承ください。
- 経年変化により、多少変色する場合があります。予めご了承ください。

■ 回路図



株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント

<http://www.modellista.co.jp>

【お問い合わせ先】

モデリスタコールセンター TEL.050-3161-1000

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

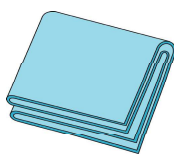


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



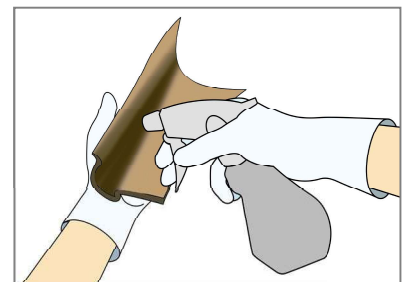
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

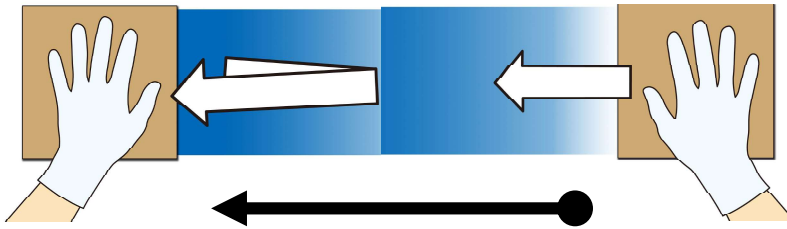
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

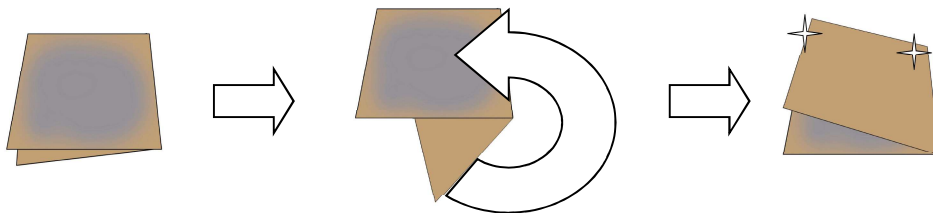
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

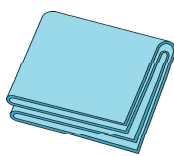


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

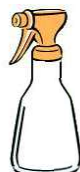
■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス



WET 用
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



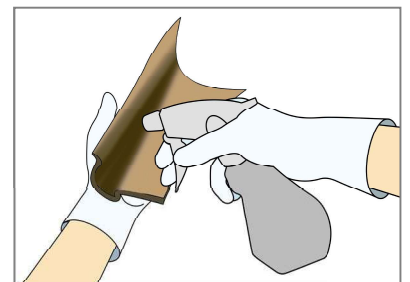
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

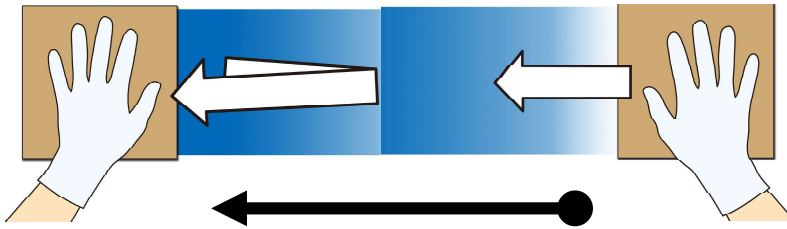
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

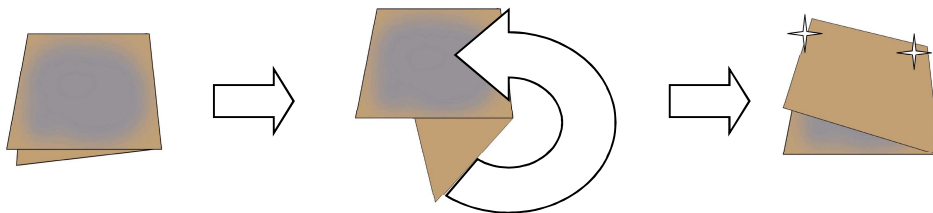
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。